

第1回健康・福祉・教育分科会会議内容

会 議 名	第1回健康・福祉・教育分科会
開 催 日 時	平成29年7月20日(木) 14:00~16:30
開 催 場 所	オリナス一宮 1階ホール
出席委員氏名	別紙名簿のとおり(9名)
欠席委員氏名	別紙名簿のとおり(1名)
出席した市の職員氏名	別紙名簿のとおり(33名)
会 議 の 議 題	1. 基本構想(案) 「序論」「本論」について 2. 基本計画(案) プラン1 施策1~3について
会議の配付資料	別添のとおり
会 議 の 経 過	発言要旨は、別添のとおり
会議の公開・非公開	公開にて開催(傍聴人 0名)

第1回 健康・福祉・教育分科会

◎は分科会長、○は副分科会長、他の委員は五十音順。敬称略。

出席された委員

氏 名	役 職 等
◎ 尾 関 宗 夫	一宮市議会議員
○ 渡 部 晃 久	一宮市議会議員
太 田 一 弘	一宮市民生児童委員協議会 連絡会長
大 竹 幹 雄	一宮市体育協会 副理事長
國 立 紗 代	一宮市小中学校 P T A 連絡協議会母親代表会 副会長
中 村 一 仁	一宮市議会議員
二ノ宮 和 雄	一宮市社会福祉協議会 木曾川支部長
丹 羽 利 充	修文大学・修文大学短期大学部 学長
野 村 直 孝	一宮市医師会 会長
宮 崎 初 美	総合計画市民ワークショップ参加者

欠席された委員

野 村 直 孝	一宮市医師会 会長
---------	-----------

出席した市の職員

企 画 部	長谷川次長、服部次長、企画政策課 杉浦課長、高田専任課長、千田、野末、神山
市 民 健 康 部	船橋部長、前里次長、保険年金課 河岸課長、健康づくり課 加藤課長、脇田専任課長
こ ども 部	栗山部長、伊藤次長、子育て支援課 野村課長、保育課 鈴木課長、青少年育成課 山口課長
環 境 部	波多野部長、佐藤次長、施設管理課 高味課長
経 済 部	児嶋部長、農業振興課 大野課長
ま ち づ くり 部	加藤部長、都市計画課 中島主監、公園緑地課 今枝課長
病 院 事 業 部	古田次長、市民病院管理課 中村課長、市民病院業務課 伊藤課長、市民病院地域医療連携室 土屋副室長、木曾川市民病院 中島事務局長
教 育 文 化 部	野田部長、生涯学習課 岩田課長、スポーツ課 岡本課長

平成 29 年度 一宮市総合計画審議会
第 1 回 健康・福祉・教育分科会 次第

日時 平成 29 年 7 月 20 日(木) 午後 2 時

会場 オリナス一宮 1 階ホール

1. 開会

2. 審議

(1) 基本構想(案)

(2) 基本計画(案) 施策 1 「健康寿命の長いまちづくりに取り組みます」

施策 2 「安心して子育てができる環境をつくります」

施策 3 「適切な医療を受けられる体制を整えます」

3. その他

4. 閉会

一宮市総合計画審議会

第1回 健康・福祉・教育分科会 委員名簿

◎は分科会長、○は副分科会長、他の委員は五十音順。敬称略。

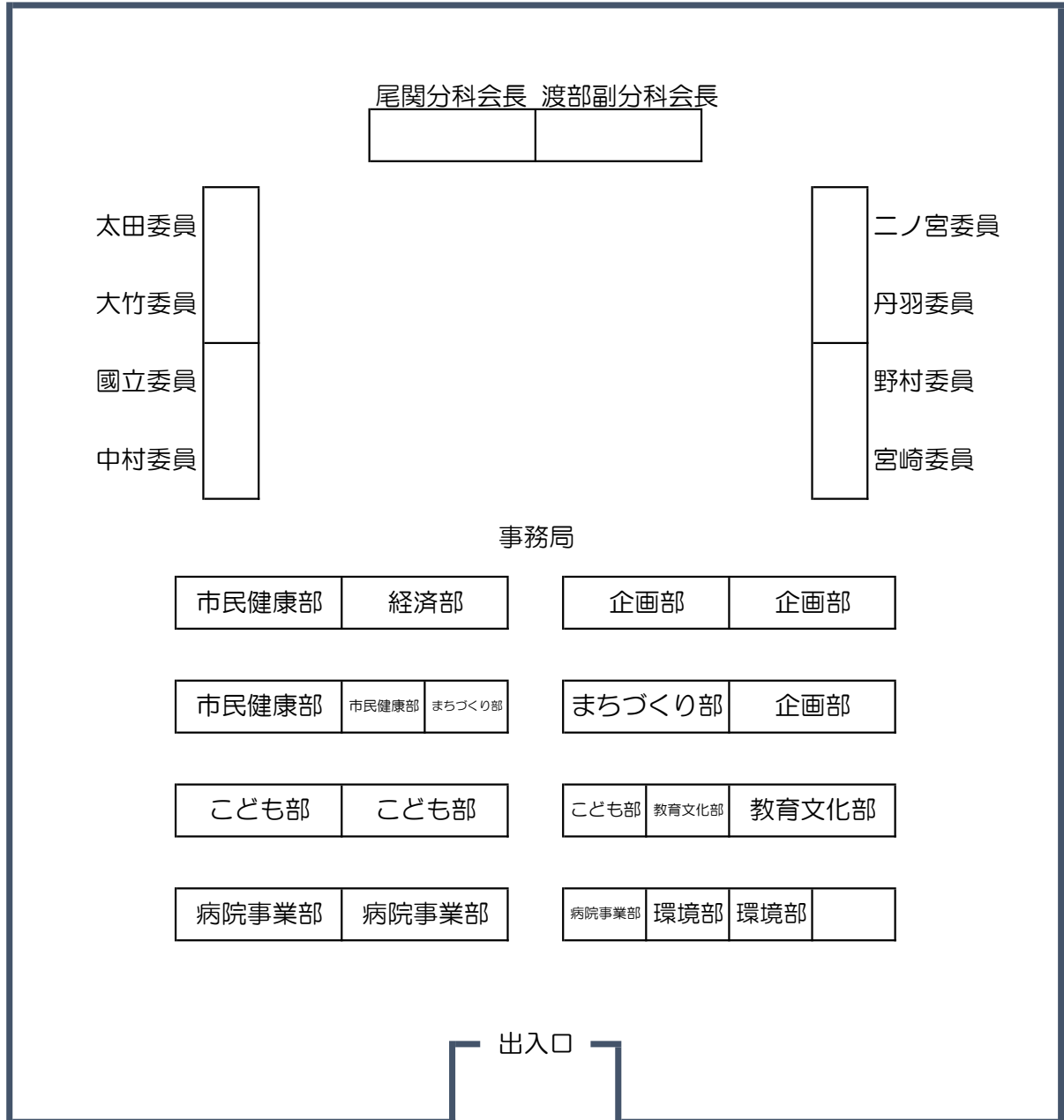
氏 名	役 職 等
◎ 尾 関 宗 夫	一宮市議会議員
○ 渡 部 晃 久	一宮市議会議員
太 田 一 弘	一宮市民生児童委員協議会 連絡会長
大 竹 幹 雄	一宮市体育協会 副理事長
國 立 紗 代	一宮市小中学校 P T A 連絡協議会 母親代表会 副会長
中 村 一 仁	一宮市議会議員
二ノ宮 和 雄	一宮市社会福祉協議会 木曾川支部長
丹 羽 利 充	修文大学・修文大学短期大学部 学長
野 村 直 孝	一宮市医師会 会長
宮 崎 初 美	総合計画市民ワークショップ参加者

事務局 出席者

企 画 部	長谷川次長、服部次長、 企画政策課 杉浦課長、高田専任課長、千田、野末、神山
市 民 健 康 部	船橋部長、前里次長、保険年金課 河岸課長、健康づくり課 加藤課長、 脇田専任課長
こ ど も 部	栗山部長、伊藤次長、子育て支援課 野村課長、保育課 鈴木課長、 青少年育成課 山口課長
環 境 部	波多野部長、施設管理課 高味課長
経 済 部	児嶋部長、農業振興課 大野課長
ま ち づ くり 部	加藤部長、都市計画課 中島主監、公園緑地課 今枝課長
病 院 事 業 部	古田次長、市民病院管理課 中村課長、市民病院業務課 伊藤課長、 市民病院地域医療連携室 土屋副室長、木曾川市民病院 中島事務局長
教 育 文 化 部	野田部長、生涯学習課 岩田課長、スポーツ課 岡本課長

健康・福祉・教育分科会

7月20日(木) 14:00～ オリナス一宮 1階ホール



発 言 要 旨	
企画部次長	<p>定刻となりましたので、ただ今より、一宮市総合計画審議会「健康・福祉・教育分科会」を始めさせていただきます。</p> <p>委員の皆様におかれましては、大変お忙しい中、また、お暑い中、ご参集いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>本日は、第1回目ということでございますが、委員の皆様から、忌憚のないご意見を賜りたいと思っておりますので、どうぞ、よろしく願いいたします。</p> <p>それでは、本日の会議につきましては、分科会長さんが座長ということになっておりますので、尾関分科会長様、よろしく願いいたします。</p>
分科会長	<p>皆様、ご苦労様です。</p> <p>ただいまより、「健康・福祉・教育分科会」を始めます。</p> <p>審議に入ります前に、事務局からの報告をお願いいたします。</p>
企画政策課長	<p>それでは事務局から、まず、配付資料でございますが、次第・委員名簿・配席図を今回、お配りしておりますので、ご確認いただきたいと思っております。</p> <p>それから、前回、審議会資料としまして、資料4の「基本構想(案)」および資料5「基本計画(案)」をお渡ししておりますので、もし、この場にお持ちでない委員さんがいらっしゃいましたら、お申し出いただきたいと思っております。</p> <p>よろしいでしょうか。事務局からは以上です。</p>
分科会長	<p>それでは、さっそく審議に入りたいと思っております。</p> <p>委員の皆様には大変お忙しい中、お集まりいただいておりますので、会議は2時間を目途にして、まず基本構想について審議を行い、次に基本計画に入ってまいります。</p> <p>本日の分科会では、「施策1～3」の審議を進めていく予定です。担当部署の職員も出席しておりますので、忌憚の無い意見をお願いいたします。</p> <p>それでは、審議会資料4「基本構想(案)」につきましてですが、総合計画の根幹となる部分で50ページにわたります。まず、1ページから12ページまでの、序論の部分について、審議し</p>

<p>二ノ宮委員</p>	<p>たいと思います。</p> <p>言い回しが気になるということでもかまいませんので、ご意見・ご質問を頂戴したいと思います。よろしく願いいたします。</p> <p>数点お聞きしたいと思います。</p> <p>まず、3ページには、交通アクセスであるとか、産業・観光であるとか、次のページに子育て・教育とかありますけれども、交通アクセスとか産業・観光とかは全体の話が書いてあって、子育て・教育では、左に i-ビルの子育て支援センターの写真等があります。これはつまり、一宮市の特色だとか特長、施策ということが、ここに書いてあるのかなと思うのですが、どうでしょうか。</p>
<p>企画政策課長</p>	<p>このページにつきましては、今、委員がおっしゃったとおり、一宮市の現状、特長などを記載しております。</p>
<p>二ノ宮委員</p>	<p>ありがとうございます。それでしたら、できれば交通アクセスの前のところに、見出しで、例えば一宮市の特長である施策であるとか、あるいは特色というような見出しを是非付けていただけないかな。そうすれば、一宮市はこういった独自の様々な施策を進めたいのかなということが分かりますので。まず、それが1点目でございます。</p> <p>2つ目なんですが、同じく3ページの「交通アクセス」●2つ目ところに「名古屋高速道路 16 号一宮線」とありますが、この名称は結構、道路関係の人は知っているのですが、一般の方は知らないでしょう。通常、「名岐道路」と言っています。ここにこういう名前が出ていて、次に、28 ページの真ん中の段に「名古屋高速道路」、そして最後に 30 ページの国道 22 号の、既にできている部分には「名岐道路」、赤い部分には「名岐道路延伸」とあり、非常に分かりにくい。先日、国へ要望に行ったと中日新聞に載っていましたが、新聞でも、「名岐道路、名岐道路」と言っていますので、名岐道路という文言を括弧書きでいいので、是非入れていただきたいな、というふうに思うのですが、担当部局いかがですか。</p>
<p>都市計画課主監</p>	<p>委員さんよりご指摘のございました3点につきまして、今、考えるのは、皆さんに馴染みがある名前と言いますと「名古屋高速道路」というように思うので、「名古屋高速道路」で統一する方向でいかがかなと思います。</p> <p>それから、30 ページに示してある図につきまして、一宮インター</p>

	<p>の下の青色の部分につきましては、供用中ですので「名古屋高速道路」。北に行きまして、ピンクの部分「名岐道路延伸」と表現してあるところは、おっしゃるとおり要望活動をしておりますけれども、まだ事業主体も未定なものですから、「延伸」という言葉をとるような形で表現してはどうかという考えでおります。</p> <p>そういう話になってくると、平成8年くらいに、もう、「名岐道路」はできているのですが、この図を見たときに、「名岐道路」ってまだできていないの？と感じると思います。図面を見てもどこにも出てこないから。今の説明でいきますと、30 ページの図、右上に、北尾張中央道がありますよね。「新国道 155 号」の「新」という言葉はあんまり使わないのですが、北尾張中央道とは都市計画道路ですよね。国道 155 号とはつまり、道路法による名前ですよね。では、「名岐道路」とはいったいなんなのか。当たり前ですが、地域高規格道路ですよね。これでは、分かりにくいよね。どこが関与するのか、ということで、たまたま「名古屋高速」となっているわけで。併記が私は、普通だと思っておりますけれども。そうしないと一般の方は分からないと思う。総合計画とは市民の皆さんに分かってもらうように作るわけで、担当部局だけ分かって意味がないと思いますので、その辺の検討をちょっとお願いしたいと思います。</p> <p>次に行かせていただきます。</p> <p>今の 30 ページの図は大体いいのですが、西尾張中央道と東海北陸自動車道がずっと重なって書いてあります。バス路線、つまり一宮駅から西へ延びる緑色の線までは、大体同じところに走っているのですが、ここから北では西尾張は北に行ってしまうと、東海北陸は東へ延びていきますので、図の修正等を一度お願いしたいと思います。</p>
<p>二ノ宮委員</p>	<p>今、ご指摘いただきました、30 ページのイメージ図につきましては、一度見直して、次回、分科会の際にお示しさせていただきたいと思っております。</p>
<p>まちづくり部長</p>	<p>今、ご指摘いただきました、30 ページのイメージ図につきましては、一度見直して、次回、分科会の際にお示しさせていただきたいと思っております。</p>
<p>二ノ宮委員</p>	<p>次に行きます。</p> <p>3 ページ「産業・観光」のところの一番下に、「自動運転実証実験」とありますけれども、経済部の方で、観光で、いちのみやフィルムコミッション協議会を立ち上げていて、結構、ロケ地としてのお話が来ていると思います。どういったものがあるか、どういったものを挙げていないのか良く分からないのですが、検討だけお願いしたいと思</p>

	<p>ます。</p> <p>6 ページお願いします。</p> <p>非常に細かい話なのですが、「協働・コミュニティ」の部分、アダプトプログラムを今もやっております、ボランティアの方に道路だとか公園の清掃をしていただいているということなのですが、本文の下から3行目では、「市民ボランティア団体」となっていますが、これは、個人も団体もありますので、「市民ボランティア・団体」か、あるいは「団体」を取ってしまって、「市民ボランティア」つまり、個人もあるし、団体もある、というどっちかの表示でお願いしたいと思うのと、一番下の「アダプトプログラム」の説明書きがありますけれども、「ボランティア市民」とありますので、この辺を同じように修正等をしてもらいたいと思います。よろしくお願いたします。</p>
企画政策課長	<p>先ほどの質問についてお答えさせていただきます。</p> <p>まず、小見出しがあった方がよいのではないか、ということについては、検討させていただきたいと思います。</p> <p>同じく3ページの方、「産業・観光」のところにつきましては、他の分科会でも指摘がございましたので、合わせて検討したいと思います。</p> <p>アダプトプログラムのところについても、「ボランティア市民」というのはふさわしくないのではないか、というご意見でしたので、こちらも担当課と協議して、また、次回、お示ししたいと思います。</p> <p>1点、今は一応、1ページから12ページの序論のご審議をお願いしておりますので、その点、お願いしたいと思います。</p>
二ノ宮委員	<p>すみません。先ほどの30ページの図は関連するものでしたので、お許しいただきたいと思います。</p> <p>8ページをお願いします。一宮市を取り巻く社会潮流ということで、様々な社会現象がいろいろ書いてあるのですが、まず、各々の最後のところが、重要です、とか、必要です、とか、求められていますとか、期待されていますということで、「今後の社会潮流に合わせて、市はこういうことに取り組んでいくんだよ」という書き方がしてある。ところが、二つ気になるのは、11ページ「H.分権改革の進展」では「努めています」それから、次のページの「J.財政確保」では「取り組んでいます」とあります。これも当然のことながら、今後いろいろな状況が変わることによって、それに取り組んでいきますという話になると思いますので、「努めていきます」とか、「取り組んでい</p>

きます」という表現に変えていただきたい。これからいろいろなことが起こって、国の体制も変わってくる。そうすると様々な制度も変わってくるのですが、そういうものに対して、今後 10 年間でいろいろやっていきますという提言になっているはずなので、表現を少し、変えていただきたいなと思います。

それから、もうあと一つ。

これが最後になるのですが、8 ページ「リニア中央新幹線の開業」の「本市では」というところでは、「名古屋駅まで約 10 分」ということで、こういった利点を活かして経済面をはじめとした成長に結び付けていくことが必要です、その次の段が非常に気になりまして、要はストロー現象が懸念されていまして、本市にそうした影響が及ばないような対策も必要ですとあるのですが、ストロー現象の対策を市で何ができるのか、はっきり言ってすごく大きな課題をここに書いているなど。ストロー現象とは、ご存知のように、ストローの両端で吸引力が強い方が、他の方を飲み込んでしまうという現象ですよね。よく言われているのは、東京に 40 分でつながっちゃうと、例えば東京に会社があって一宮市に会社がある、あるいは名古屋に会社があるというようなところは、東京に会社があれば、名古屋の方では必要がないので、会社をなくしてしまってもいいんじゃないかと。東京に持っていかれてしまう。という反面、リニアによって名古屋も東京も同じ経済圏、都市圏であるという考え方をすれば、東京で新たな土地を見つけることができないのであれば、逆に名古屋で作ればいい。こういったプラス面も当然ありますよということですよ。よく言われているのは、名古屋はリニアの当分の発着の最終の駅になりますので、この利点をうまく使って、簡単にいうといろんなハブ機能、つまり名古屋に鉄道であれ、道路であれ、ここにみんな来るのだから、利点をうまく使おうじゃないか。だから、駅周辺の整備であるとか、交通網の整備であるとか、なんとかしましょう、という話がある。交通網の整備の中でも大きいものは、鉄道網がある。一方で、鉄道を使えない地域は交通ネットワークを確保しようと言うことで、ご存知のように名古屋高速を名古屋駅に乗り入れる話がある。名岐道路をなぜ延伸するのかというと、国道 22 号の混雑もあるけれども、一方でこういった交通ネットワークを整備することによって、リニアのいろいろな恩恵を受けようじゃないかという話もある。というように、リニア開業には、プラスもマイナスもあるので、ここにはやはり、「こういうことがあるから、一宮市としてはこういうふうに取り組んでいくよ」と、ストロー現象の下の部分をですね、少し書き込んでい

<p>企画政策課長</p>	<p>ただけないかなと思うのですが、そのあたり、いかがですか。</p> <p>今回2点ご質問があったと思います。</p> <p>まず、1点目なんですけど、社会潮流に関しての、文体の統一みたいなお話がございました。こちらについては、文体の統一をさせていただきなかなというように思っております。</p> <p>今のリニア中央新幹線の開業につきまして、これにつきましては、諸説ございまして、学者さんによっては、ストロー現象があるという学者さんもいらっしゃいますし、これが好機である、というように考えている学者さんもいると思います。今のお話は、そういった後ろ向きじゃなくて、これを機に、ということで、いろんなプラスの面も書いた方がいいんじゃないかというご意見だと思いますので、こちらについても、一度持ち帰って検討させていただきたいと思います。</p>
<p>中村委員</p>	<p>細かいところですけども、教えてください。</p> <p>子育て・教育の写真の真ん中は黒くなっているんですけども、これはどういう写真が入るのでしょうか。</p>
<p>企画政策課長</p>	<p>この真ん中には、実は、プログラミング教育での、ペッパーの写真を入れようかと思っておりますが、ソフトバンクの方から許可をもらわないといけませんので、それが下り次第、こちらに写真を入れるように考えております。</p>
<p>中村委員</p>	<p>承知しました。</p> <p>続きまして5ページの「スポーツ・文化」の、これも写真についてなのですが、左から体育館の外観、中の様子、イタセンパラの写真があるんですけども、内容を見てみると、文化財の文言もありますので、体育館の写真は外観と内観の写真があるので、文化財の写真を入れてみるとか、そういったことは難しいでしょうか。</p>
<p>企画政策課長</p>	<p>写真については、一度、検討させていただきたいと思います。</p>
<p>中村委員</p>	<p>文字も大事なんですけど、写真も見て、「一宮はこんな状況なんだ」と思ってもらえるので、そういった写真というのは大きいのかなというように思っています。その辺も踏まえてご検討ください。</p> <p>それから、これも細かいことなのですが、8ページから12ページにかけて、一宮市の社会潮流が書いてあるのかと思うのですが、この社</p>

	<p>会潮流のなかで、健康のことを書いてあるのが、「高齢化の進行」のことしか見当たらないと思うのですが、健康の現在の状況というようなことも、もっと記した方がいいのではないかと、思いますがいかがでしょうか。</p>
<p>企画政策課長</p>	<p>こちらには、日本全国で一般的に言われているような、比較的大きな動きを書いております。個別につきましては、基本計画のところ的现状と課題という形で記載しておりますので、そういった形でお願いしたいと思います。</p>
<p>中村委員</p>	<p>分かりました。 基本計画の方にしっかりと書いていただけるといふふうに確認させていただきました。12 ページまでについては、以上でございます。</p>
<p>渡部委員</p>	<p>10 ページの地域経済の停滞というところでは、地場産業である、繊維産業のことについていろいろと説明がしてあります。確かに一宮市は地場産業である繊維で栄えたまちではあるのですが、繊維産業のことだけで記載が終わってしまっているというのは、現状、そして、将来、本当にそれでいいのかと感ずるところであります。 例えば、ソニーさんが出られた後にコナミさんが入って来られましたし、繊維以外の産業も、地域経済には重要だと私は感ずるのですが、その点について、ご意見を聞かせていただければと思います。</p>
<p>企画政策課長</p>	<p>地場産業だけではなく他のことも書いては、というご質問ですので、こちらにつきましても、検討させていただきたいと思っております。</p>
<p>分科会長</p>	<p>よろしいですか。では、次に行きたいと思っております。 13 ページから 30 ページまでの、本論に移ります。 ここについても、委員の皆さんから、ご意見・ご質問を頂戴したいと思います。よろしくお願ひします。</p>
<p>二ノ宮委員</p>	<p>2、3 点聞きたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。 まず、14 ページをお願ひします。 厳しい意見を一つ言わせていただきますけれど、「都市将来像」がここに書いてあって、その次、5 つのプランという普通でいうと基本計画で書いてあるような内容がいきなり来ちゃう。 今回、15 ページ「5 つのプラン」の本文を読んで、まず、下から</p>

2行目の「一宮市が今、できること」「今、やっておくべきこと」というのが私はすごい気になって。というのは、10年計画ですので、普通は、「10年間でできること」「10年間でやっておくべきこと」というべきですね。普通なら目的があって、「こういうことがしたい」「こういう都市にしたい」だから「今できることをやります」あるいは「今、やるべきこと」をやりますよ、となる。そこがどこになるのかなと思って。この文を読むと、都市将来像の実現に向け長期的な展望に立ったとき、今できることをやっておくよ、という文章だと思うのですが、これで、なんでこの計画が出てきたのか。普通は総合計画とは、まちづくりの目標であるとか、まちづくりの方針とか、つまり、都市の将来像というもの、将来像はここに出てきていますけれど、もう少し細かい、こんな都市を目指していきますよ、という基本的な方針があってですね、そこに沿って進めていくというのが普通の話なんですけど、今回、この計画には、まちづくりの目標であるとか方針という部分が全くない。ですから、非常に流れ、なぜ、この都市将来像から、健やかにいきるとか、快適にくらすなのかわからない。普通は、こういう都市をつくりたいですよ、だから、こういうことをやっていますよ、というのがあるのですけれども、それがありませんね。僕も過去、市の職員をやっていたので知っていますけれど、第6次総合計画は、市民のアンケートをして、特殊な作り方をしましたけれど、つなぐ文言があったんですね。間違いなく書いてある。今回、そのところがすっぽり落ちちゃっている。ですから、どういうまちをつくりたいのかが、全く見えてこない。

と言っているけれども仕方ないので、一つ聞きたいものの1点目なのですが、プランや施策に載っているのは、ページがどんどん変わって申し訳ないのですが、43ページの「アンケートのクロス集計」から来ていると思うんです。こういったクロス集計から、どうやってこのプランとか施策とかの関係、それから都市将来像につながっているのか、その辺りを無視してはいけませんので、その辺りの流れを教えてください。

企画政策課長

総合計画の作り方のご質問かと思えます。

まず、一番初めに行いましたのは、今日、委員の中にも参加いただいた方もいらっしゃるのですが、市民の方にお集まりいただき、ワークショップを開催しました。そこで、一宮市はどんなまちを目指すのか、どんなまちになっていくのか、というキーワードを出していただくワークショップを開催しましたところ、ここでいろんなまちの課題

	<p>が出てきましたので、それを基に今度はアンケートを実施しました。というのは、ワークショップに参加いただいたのは50人程でしたので、それが一宮市民の総意ではないだろうということです。こんなことが気になる、こんなまちがいいんじゃないかというものを拾い出して、アンケートを作成・実施して、重みづけをいたしました。その結果が、43ページの、重要度と満足度をクロス集計したものでございます。</p> <p>満足度が高いものであれば、まあいいだろうということで、満足度が低く、なおかつ重要度が高いと思われるものを、今回、ピックアップした形になっております。</p>
<p>二ノ宮委員</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>ですから、そういった市民の方の言ってらっしゃる内容を、こんなまち、こんなまち、こんなまちをつくるため、というような枕詞を少しお願いできないかなど。できる範囲で結構ですけど。</p> <p>今回、43ページに資料があるということでしたが、この資料がどうやって活用されているのか、はっきり言って全く分からない。</p> <p>だから、市民がそういう意見を言ってらっしゃるなら、市民が将来こんなまちに住みたいよという、まちづくりの表題のようなものを、何か入れてもらいたいなど。そうすると、10年間でこういったことをやりたいよ、というような流れになると思いますので、その辺りについて、ご検討をお願いしたいと思います。特に、今の時点では結構ですので、よろしくお願いします。</p>
<p>企画政策課長</p>	<p>どんなことを目指すのかなというお話があったのですが、18ページから、一宮市の未来ストーリーという形で、今回の第7次総合計画については、ここが特長的なところになってきます。先ほど説明しました市民の方からのキーワードをつなぎ合わせたものが、5つの未来ストーリーということで、こちらでどんなまちを目指すのかということをお示ししております。</p> <p>あともう1点、アンケートの結果をどのように活用したか、ということですが、これは悩むところでございますが、他の自治体の総合計画も確認しましたが、その辺りが「これがこういうふうになって、こうなって」と論理だてた形で総合計画に記載されている自治体もありません。迷ったのですが、資料として、こういうアンケートをやったよという事実だけを載せた形で、まとめました。</p>

二ノ宮委員

まず、今のお話の18ページからの内容を私も見ましたけれども、かなり苦勞して作っているな、ということが良く分かりました。お疲れさまでした。私は、これはすごく評価するのですが、ただ、ここに書いてあるのは、やはり事例なものですから、「将来はこういうまちをつくりたいよ」というような、若干分かるような形でですね、そんなに長い文章でなくてもいいので、少し書いていただければ。アンケート、未来ストーリーはいいと思いますが、将来像からいきなり5つのプランになるのは、すごい抵抗があるので、ここにちょっとした文章を入れてもらえたらありがたいなと思います。それはまた、ご検討お願いしたいと思います。

すみません、あと一つ、お伺いします。

26ページをお願いします。「将来推計人口」ということで、「見込まれます、見込まれます」とあるのですが、なぜこういう書き方をしているのかなと思ひまして。当然、将来推計人口というのは、市の方が、将来この程度の人口でありたいですよ、ということなのに、ところが、「見込まれます」ということが書いてある。土地利用の方がありますが、市街地整備事業というものを大々的にやって、そこに人を集めますよということになると、その分をオンして、将来人口を出すんですね。そういうことをやるので、通常、総合計画の各自治体の将来人口を集めると、人口が2倍以上になってしまう。これは昔からよく言われる話なのですが、人口を増やす方向で将来人口は書いている。過去2回くらいの人口の推計を使って、大体こんなくらいの人口になりますでしょうということが書いてあると思うんです。ただ、今回は、次のページにあります、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」によって、人口減少の対策に努めているよ、地域をどうしましょうということを書いてある中で、今、合計特殊出生率を上げていきたいと思いますよという施策をしていますよね。それでもって推計をされていると思うんです。

この総合戦略を見ると、出生率は平成26年の1.42を平成31年に1.56まで上げていくと。つまり、子育て環境を良くしたり、あるいは、働きやすい都市をつくることによって、出生率を増やしていきますよ、という施策ですよ。総合戦略によってこうしていきますよ、というように、市の施策としてかなり意図が入っている。それならば、本来であれば、総合計画はその上位計画であるわけだから、こういうふうにしていきますというような意思をですね、是非書いていただきたい。つまり、見込まれるというよりも、いろいろな施策をやることによって見込まれるというわけですよ。そういったことをこ

<p>企画政策課長</p>	<p>ここに1行でいいので、書き込んでいただきたい。あるいは、「見込まれます」を、「して行きます」とか「目指しています」という、そういった表現に是非できないかなと思うのですが、いかがですか。</p> <p>2点、質問があったと思いますが、まず1点目ですが、ストーリーとのつながりが、というお話があったかと思いますが。こちらにつきましては、今一度考えさせてはいただきますが、なかなか、もし、うまくつながらなければこのままでご勘弁いただくことになるかと思えますけれども、一応、持ち帰って検討はしたいというふうに思っております。</p> <p>人口についてなのですが、委員さんおっしゃったとおり、これは総合戦略の人口の抜粋ということになります。</p> <p>総合戦略では低位、中位、高位推計だけでなく、社人研だとかいろいろなところが出しているデータが10パターンくらいありまして、その中でいろいろな検討がなされ総合戦略の人口推計として掲載されていると思いますが、「見込まれます」という表現はいかがなものか、というご質問だと思うのですが、27ページの注釈の中で、「まち・ひと・しごと創生総合戦略における施策効果後の将来推計値です」というふうに書いてあります。これでは、弱いだろうということであれば、当然、何もしなければ人口は減っていく中で、総合戦略の施策効果が発揮できればこの人口になるだろうという人口を将来人口として見込んでおりますので、「見込まれる」以外で適する言葉があれば、こちらの方も検討させていただきたいと思えます。</p>
<p>中村委員</p>	<p>28ページから30ページにかけて確認なのですが、28ページ「2. 多拠点ネットワーク型都市の構築」とありますが、読んでいきますと、下から4行目「各拠点」と連携していく、と書いてありますが、「都市部」と「郊外部」はあります。「郊外部」と「郊外部」のネットワーク化は考えていないというふうにもとれますが、それとも「郊外部」と「郊外部」のネットワークもあるのか教えてください。</p>
<p>まちづくり部長</p>	<p>これは、イメージ図をお記ししたもので、郊外と郊外を結んでいないということではないのですが、結ぶ方法として、公共交通、鉄道とかバスというものを想定していますし、そういった公共交通がないところは、コミュニティバスとかi-タクシーというものでカバーしていこうというように、実は網の目のようにネットワークしているのですけれども、そこまでここでは書き込めませんので、代表的な基幹バ</p>

中村委員	<p>ス等を表記させていただいたということでございます。</p> <p>ありがとうございました。「郊外部」と「郊外部」もネットワーク化されているということを確認させていただきました。</p> <p>もう一つ、30 ページイメージ図の方には、「拠点」という言葉に関して、「都市拠点」「副次的都市拠点」「地域生活拠点」この3つに分かれているのかなというように思うのですが、この四角の中に書いてあることは分かるのですけれども、文章の流れで読むとですね、28 ページの文章の中では、最初、「各拠点」って何だろう、というように思いましたので、おそらくこの3つの「都市拠点」「副次的都市拠点」「地域生活拠点」だと思われまので、そういったところ、読んでいる方がスッと落ちるといふか、分かるような書きぶりを検討していただくことは、難しいでしょうか。</p>
まちづくり部長	<p>すみません。少し聞き取りづらかったので、もう一度、よろしいでしょうか。</p>
中村委員	<p>28 ページの文言を読んで行くと、「各拠点」とは、都市部と郊外部なのかなというように感じてしまいます。ただ、30 ページの方を見ていくと、ネットワーク、拠点というのは3つあるんだなということが後で分かってきますので、28 ページの文脈を市民の方が読まれる中で、一宮市には拠点というのが3つありますよということが分かる書きぶりに、検討いただけないでしょうか。</p>
まちづくり部長	<p>いわゆる、「都市拠点」と「副次的都市拠点」について、28 ページには書いてあるんだけど、30 ページになると、「地域生活拠点」というものがあるということ、そういうのが分かるような表現にしてはどうか、というご提案でよろしかったでしょうか。</p>
中村委員	<p>おそらく、「都市拠点」と「地域生活拠点」のこのみ書いてあると思うんですよ。「副次的都市拠点」という言葉については書いてないんですよ。そういったことも書き込んでおいた方が、市民の方も分かりやすいんじゃないかなと思います。</p>
まちづくり部長	<p>検討させていただきます。</p>
中村委員	<p>お願いします。市民の方に、どんなまちづくりを行っていくのか、ということが齟齬がないように伝わっていかないとはいけないと思</p>

	<p>ますので、是非ともご検討ください。</p> <p>もう一つなのですが、29 ページの方の、「土地利用の方針」の「住宅地の配置方針」というところで3番目の、「●市街化調整区域の駅周辺等、利便性の高い地区の活用」というところの「駅周辺等」の「等」に何が含まれているのか、確認のため教えてください。</p>
まちづくり部長	<p>出張所とか、小学校、中学校とか、いわゆる公共施設が集積している場所というふうに考えております。</p>
中村委員	<p>小中学校が含まれているということは、確か市街化調整区域地区内計画の方でも出ていたと思うんですけども、小中学校が含まれているという文言がどこにもないので、小中学校があるところも含まれているということが分かるように検討していただくことは、難しいでしょうか。</p>
まちづくり部長	<p>ここは、基本構想の部分ですので、どこまで細かく書き込めるか、というような議論が必要かと思います。先ほどの28ページの拠点の話もそうですけれども、こちらも含めて基本構想としてどういう表現が適当なのか、ということについて、再度検討させていただきたいと、考えております。</p>
中村委員	<p>ありがとうございました。先ほどもお話ししましたように、市民が読んだ時にどう思うか、齟齬をなくしていくことが大事だと思います。この文章を読んでいると、そうとは思わないけれども、実際のところ、公民館や小中学校の周りも拠点としていくということですので、そういったことを市民が読み取りやすいようにしていただくと、ありがたいと思います。そのようにお願いして、終わらせていただきます。</p>
宮崎委員	<p>先ほど、30 ページ「まちづくりのイメージ図」のお話があった中で、見直していただけるとのことだったんですけども、市民目線で、ということは今、言われていたので言わせていただきますと、私のような普通の市民は、こういうカラーの図があればじいっと見ます。見た時に「あ、これ、一宮の地図なんだな」と思って見ると、これって、木曾川庁舎だな、とか、自分の知っているところをなんとなく探すんですね。お家のマークとか、病院っぽいマークとか、マークの説明が道路に比べてないので、これはあくまでも、空想で置いていただい</p>

<p>丹羽委員</p>	<p>いるのか。そうでなくて、もし、ちゃんと出張所があるところに出張所のマークを付けていただいているのであれば、これは出張所のマークだよということがあれば、地域生活拠点とは、出張所とか公民館のことだよというということが、なんとなく分かるのですけれども。地域生活拠点のマークがこの図では138タワーの辺にしかないから、ちょっと、変な目線で見ちゃうんですね。イメージだけれども、もし、書いていただけるのであれば、マークの説明がちょっとあった方が、一宮市の将来として市民目線には優しいのかな、この図を見ようかなという気持ちになれるかと思ったので、言わせていただきました。</p> <p>26 ページ、27 ページの人口の数値が平成 27 年の数値が書いてありますが、これはもう少し新しいデータの方がいいかと思うのですが。先ほどの 10 ページ、「安全・安心な社会の構築」の犯罪認知件数や交通事故でも、平成 27 年のデータを挙げてありますけれども、これも平成 28 年、要するに一番新しいデータを載せた方がいいんじゃないかと思うんですけれど。</p>
<p>企画政策課長</p>	<p>先ほどの犯罪件数につきましては、他の分科会でも、やはり、最新の数値があれば、入れた方がいいんじゃないかというご指摘がございましたので、こちらについては、そのようにさせていただきたいと思います。</p> <p>人口の関係につきましては、大体 5 年スパンということで、入れておりますので、その点をご容赦いただきたいと思います。</p> <p>あと 1 点、事務局から申し遅れましたが、基本構想につきましては、表紙のところを見ていただきますと、下の枠囲いに書いてあるのですが、こちらに掲載しておりますイラストだとか写真とかグラフというのは、あくまでイメージということで、事務局職員の手作りによるもので、これにつきましては、製本するとき印刷業者が入りますので、若干イメージは変わるかなと。プロの方にまた、きちんと描いていただきますので、その点、ご了解いただきたいと思います。事務局からは以上です。</p>
<p>分科会長</p>	<p>他によろしいですか。</p> <p>それでは、基本構想については、以上とさせていただきます。</p> <p>続きまして、基本計画に移りたいと思います。</p> <p>基本計画の方の、8 ページと 9 ページの「施策 1・健康寿命の長いまちづくりに取り組みます」について、まず、事務局より報告があると</p>

<p>保険年金課長</p>	<p>ということですのでお願いします。</p> <p>早速の訂正で誠に申し訳ございませんが、9ページに成果指標がございます。こちらの「②国民健康保険の特定健康診査の受診率」の平成34年度の目標値「60.0%」となっておりますが、これを「58.0%」に修正をお願いしたいと思います。</p> <p>なぜかと申しますと、その下のところに「関連する個別計画」がございます。その2つ目に「(仮称)第3期一宮市特定健康診査等実施計画」というものがございます。</p> <p>第3期とは、平成30年度から始まるのですが、第1期、第2期がそれぞれ5年の計画ということで策定をされております。第2期の最終年度が今年度、29年度になりまして、第3期が30年度から始まるのですが、2つとも5年という計画の期間だったものですから、第3期についても、5年であろうということで、私どもは想定しておったんですけれども、今回、国の方から、これを6年の計画にしてくださいという話がきました。そうしますと、その計画が30年から35年までの計画になります。右上のこの成果指標は目標が34年度というようになっておりますので、第3期の計画の最終年度が35年度、総合計画は34年度ということです。国の指針の中で、第3期の特定健康診査の実施計画の参酌標準ということで、この程度の数字に目標値を設定してくださいねというものがああります。それが35年度で60%とするようにと示されておりますので、今回の総合計画がその1年前、34年度ということですので、だんだん徐々に上がっていくということで、58%というふうに設定させていただきたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。</p> <p>それから、関連する個別計画の3つ目のところで、「(仮称)一宮市国民健康保険データヘルス計画」とございますが、これにつきましても、実は第1期の計画が平成28年、29年度の2年間の計画がございます。こちらに載せる計画につきましては、「(仮称)第2期一宮市国民健康保険データヘルス計画」ということで、「第2期」という言葉を書き加えていただければというように思っております。</p> <p>以上です。よろしくお願い申し上げます。</p>
<p>分科会長</p>	<p>それでは、「施策1・健康寿命の長いまちづくりに取り組みます」について、ご意見・ご質問をお願いいたします。</p>
<p>丹羽委員</p>	<p>8ページの、グラフ「本市の死因別死亡状況」、これを見ますと、</p>

健康づくり課長	<p>肺炎が、死因の第4位となっていますが、今、日本では、肺炎の死因は、第3位なんです。前は違ったのですが現在は、肺炎が第3位ですから、データが平成26年だから古いのか、この地域では何か別なのか。日本では第3位ですから。</p> <p>ちょっと今、分からないので、後で確認してお伝えします。</p>
二ノ宮委員	<p>今、もう基本計画に入っていて、基本構想は終わったので申し訳ないのですが、一つだけ前の部分のお尋ねをお願いしたいのですが。基本構想43ページ資料編、ここで重要度と満足度のクロス集計をしてありまして、これがたぶん資料編の肝かなと思っているのですが、当然、一番重要なのは、重要度が高くて、満足度が低い、つまり、こういうことをしてほしいんだけど、なかなかされてないよ、という部分かなと思うのですが。</p> <p>すみません、聞こえますかね。他の委員さん声も結構聞こえづらいものがある。</p>
企画政策課長	<p>結構、反響があって聞き取りづらいです。</p>
二ノ宮委員	<p>このクロス集計には、A、B、C、Dという区域があるわけですが、先ほどの5つのプランを見ていると、Aのところは結構、取り上げているなというように見えるのですが、この結果が44ページということですよ。44ページはこうですよ、ということは分かったのですが、これをどう使っているのかが何も記載がないんですね。</p> <p>だから、経緯でも結構ですので、こういうふうで、施策に生かしてありますよ、とか、A、B、Cをどう生かしているのか、というようなことを少しですね、分析結果を入れていただけると分かりやすいかなと思いますので、既に基本計画の方に入っているのですが、少しお願いしたいと思います。</p> <p>基本計画の方、9ページをお願いします。</p> <p>厳しいことを言わせてもらいますけれども、現状と課題がまずありまして、こうですよということが書いてありますが、基本方針ということで、どう対応していくのか、あるいは、こうしていきますよ、という方針が普通あるんですね。「方針」が今回の計画は全くないので、「取り組みます」はいいけど、どう取り組む、という文章が全くないんです。</p> <p>そういった方針がないので、なぜこの施策が急にでてきたのか全く</p>

<p>企画政策課長</p>	<p>見えない、と私は思うのですが、その辺りいかがかなと。検討される余地はあるのか、教えてください。</p> <p>2点ご質問がありました。</p> <p>まず、1点、先ほどのA、B、C、Dというところなのですが、これが何に活用されているのか全く見えないというご指摘でした。これにつきましては、Aの部分が「満足度が低くて、重要度が高い」ということで、ここについて、重視していくということです。これにつきましては、そのまま施策として用いたものもございまして、課題が大きいものは分解したりだとか、似通ったものはくっつけたりして、新たに施策として再編したものもあります。それが1つ目です。</p> <p>今、基本計画の中で、基本方針というものが全くないんじゃないかということがございました。これにつきましては、左の方で現状と課題を書きまして、右のページで事業展開の方向性、つまり、こういった課題を解決するためには、どういったことをやっていくのかなというところで、9ページで行きますと、黒丸が4つあると思いますが、これが基本方針になるということでございます。</p>
<p>二ノ宮委員</p>	<p>推進はいいのですが、その下に一行、文言が入るとかですね、そういうのはできないですかね。今回、ごちゃごちゃ書いていないので画像的でいいんです。ただ、そういうものが書いていないので、「健康な生活習慣づくりの推進」とは、どういうことを目指すのかなということが非常に分かりにくいと思うのですが。</p>
<p>企画政策課長</p>	<p>基本計画の見方について、説明しているページがございまして。4ページ、5ページを開けてください。</p> <p>「第2章 基本計画の見方」ということで、基本計画を若干縮小したものに黄色い枠を囲って、ここには何のことが書いてあるのかというような説明がございまして。基本方針につきましては、5ページの上の方「⑥施策を展開する方針と、それに沿った主な事業を展開しています」ということで、ここが基本方針であるということを、説明しています。以上でございまして。</p>
<p>二ノ宮委員</p>	<p>そういう見方もあるのかなと。私はどうしても従来の総合計画のことが頭にあるのですが、基本方針が出た後に、施策の体系があった。今、あるのはただの施策の体系なんですね。はっきり言ってこの基本計画には方針はない。それが気になると言っているわけなんですけれ</p>

	<p>ども。第5次総合計画は市の各担当から基本方針というものを集め、作っています。第6次は先ほど言いましたように、大学の先生の指導で、満足度を盛り込んで、市民のいろんな意見がそこに入って作っている。いずれにしても基本方針というものが施策にあるんですね。今回は全くない。だから、少しここに文言があった方が分かりやすいんじゃないですか、と私は言っているのですが、これについては、いろいろ作り方があるので、これ以後は言いませんので、これで結構です。次、行きます。</p> <p>今の方針ということで、「健康的な生活習慣づくりの推進」ということがあるのですが、ここに「健康づくりサポーター事業、健康づくり食生活改善推進事業、すこやか健康づくり公園整備事業」とあるのですが、例えば、これはどういう事業なのかな、ということで、一宮市のホームページで検索しました。そうすると、出てくるのは、まず、第7次総合計画（案）これがまずパッと出てくる。更に予算編成過程のK P Iの公開ということで、まあ、事業概要が分かりますが。次の、「健康づくり食生活改善推進事業」は全く何もヒットしない。それから「すこやか健康づくり公園整備事業」は市長の政策であるとか、創生事業、総合戦略の中で位置づけているので、出てくるので若干分かるのですが、要は、ここに書いてある事業自体がですね、どんな事業なのか、全く分からない、正直な話。分かっている人は分かるだろうが分からない人は分からない。このような事業を基本計画に挙げるのはどうなのかなということで、一つ、お聞きします。</p> <p>企画政策課長 この総合計画は、基本構想、基本計画、実施計画の三部で構成されております。個々の事業が分かりにくいというお話もございますが、実施計画の方で、この事業についてはこういう取り組みをしていきますということを、示していこうというふうに考えております。</p> <p>二ノ宮委員 承知の上で聞きたいのですが、通常、「なんとかをします。」という書き方をすれば、ああ、そういう施策をしているのだなと分かるのですけれども、なんとか事業、なんとか事業という個々の事業を書いてあるので、こういう書き方はしないんですね、はっきり言って。なのでこう、つつい言いたくなってしまうのですけれども。今の話だと、基本計画を読まずして実施計画を読んでもくださいという話なのですが、本当にそれでいいのかなということが、非常に疑問です。まあそれはこれで、終わりにします。</p> <p>次なんです、もう一つ分からないのは、通常ですと先ほど言った</p>
--	---

<p>企画政策課長</p>	<p>ように基本方針があるのですが、こういうことについて検討していきます。これからやっていくよというのがあるのですが、この事業というのは新しいものがあるのですか。お尋ねします。</p> <p>全ての事業について把握しているわけではございませんが、パパッと見たところですね、「すこやか健康づくり公園整備事業」というものがございます。これにつきましては、公園の中に健康づくりのための遊具を設置する、といった事業でございます。</p>
<p>二ノ宮委員</p>	<p>以前からありますよね、この事業は、僕がまだ在職中の頃からやっていますので。ここには、新しい事業は出てきてないんですね、簡単に言うと。普通、方針を書いて、こういうことを進めていきますよと書いてあるので、今後そういうことをやっていくんだなということになるんですが、これには全くそういうものがどこにもないものだから、これ本当に10年間の計画なのかなというふうに疑問を持っている、ということがあります。次、行きますけれど。</p> <p>成果指標について、ちょっとまた、お尋ねしたいのですが、例えばこの成果指標はですね、「各種がん検診の受診率」あるいは「国民健康保険の特定健康診査の受診率」つまり、ある検査の、ただのアウトプット指標ということになります。本来、アウトカム、つまり、成果を測るものと思うんですが、これが例えば、病気をなくしますよという話であるのであれば、アウトカムになる。つまり、こういう検診に行くのであれば、アウトカムとして人数のパーセンテージを載せましたよ、というのはそれでもいいんですけども、ただ、今回は、「健康寿命が長いまちづくり」をしていくよという指標に対して、「がん検診」のアウトプットの受診率であるとか、「国民健康保険の特定健康診査の受診率」であるとかで、本当にいいんですか、と。「健康寿命の長いまちづくり」をしていくということならば、「健康寿命」はたぶん、いろいろ調べなければいけないので、厚生労働省ではあっても市ではないとは思いますが、できないですかね。例えば、「健康寿命」というのは、自分で自分のことができる、そういった寿命のことを言いますよね。だから、逆にいうと、介護を受けている人の率であるとか、そういった、他の指標を入れないと、ちょっと合わないのかなと思うのですが、その辺り、いかがですか。</p>
<p>健康づくり課長</p>	<p>今、委員がおっしゃったようなこともあるんですけども、やっぱり生活習慣病にかからないことが、健康寿命の増進につながるという</p>

二ノ宮委員	<p>ことがあって。生活習慣病を防ぐのが各種がん検診の受けていただいて、早期発見して、健康寿命を延ばしていただくという意味で、今回、この各種がん検診の受診率を挙げさせていただきました。</p> <p>受診率はいいんですけれども、もう1項目増やして、例えば要介護の方のパーセンテージみたいな、指標を追加していただきたいと思うのですが、そうすれば、健康寿命がこれだけ延びたよということが分かるんですけれど、少し検討をお願いしたいと思いますが。</p>
企画政策課長	<p>要介護のお話ですと、福祉の関係かなと思います。福祉関係につきましては、次回ご検討いただきたいと思っています。施策4、5が福祉分野になってきますので、また、そちらのときをお願いします。</p>
二ノ宮委員	<p>今、私は施策1の話をしているわけで、健康寿命の長いまちづくりというのは、要介護状態になってから亡くなるまでの期間をいかに縮めるのか、ということであって、この指標で本当に健康寿命の成果指標となるのか、と、私、聞いているんです。つつい、言葉がきつくなってしまうすみませんけれども、だから、本当に健康寿命の成果として、受診率でいいんですか、とお聞きしているんですが。よろしくをお願いします。</p>
分科会長	<p>この分科会では、一応分けてあるんですね。施策4で、高齢者が安心していきいきと暮らせるよう支援します、というふうに分かれていて、その施策に今日は入りませんので、その問題については、また、次回の分科会で挙げていただけたらと思いますが、いかがですか。</p>
二ノ宮委員	<p>言い方が悪いようすみません。私は成果指標を別の指標に置き換えませんかというように言っているので、他の施策の話をしているわけではないんですけれども。</p>
渡部委員	<p>一度、持って帰って検討していただくことはできませんか。</p>
企画政策課長	<p>この件については、後ほど担当課と協議させていただきたいと思います。</p> <p>成果指標のお話のございだったので、少し説明させていただきたいと思います。二ノ宮委員がおっしゃるとおり、中には成果指標がアウトカムでなくアウトプットとなっているものも確かにございます。で</p>

<p>二ノ宮委員</p>	<p>きるかぎり、アウトプットでなく、アウトカム、成果を測れる指標を考えておるのですが、中にはどうしても市で把握できないとか、本当はもっとふさわしい別の指標があっても、それに対して、例えばアンケート調査だとかお金をかけていかないと把握することができないということもございます。そうすると本末転倒かなということもございまして、それに近い、代わりとなるようなものを成果指標として挙げている部分もございますので、その点はちょっと、ご容赦いただきたいと思います。</p> <p>私もある程度経験していますので、アウトカムがないものはアウトプットでいいと、私も思います。今、言っているのは、アウトプット、アウトカムという話ではなくて、この施策に対してこの指標でいいんですかと聞いているのであって、成果指標がちょっとずれていませんかと私は言っているだけで。今、課長が言われたことは十分理解していますので、よろしくお願いします。</p>
<p>企画部次長</p>	<p>ご意見ありがとうございます。この件につきましては、再度、事務局の方で調整の上、検討させていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。</p>
<p>丹羽委員</p>	<p>9ページですね、成果指標「各種がん検診受診率」の「各種」とはどういう意味ですかね。がんにもいろいろありまして、乳がん、肺がん、大腸がん、それから前立腺がん、具体的に何を指しているのかこれだけだと分かりませんが。</p>
<p>健康づくり課長</p>	<p>これは、胃、肺、大腸がん、子宮頸がん、乳がん、前立腺がん、うちの方でやっておりますがん検診の対象者数の総合計を分母にいたしまして、受診していただいた方が34.9%ということで挙げさせていただきました。</p>
<p>丹羽委員</p>	<p>例えば男性は男性のがん、例えば前立腺がんと、普通の検診と受けた場合、一つの検診を受診したとなっているのか。どう反映されているのか。</p>
<p>健康づくり課長</p>	<p>延べになっています。両方受けてらっしゃる方もたぶんいらっしゃるかと思います。</p> <p>当然、男性のがんの対象者は男性だけで、種類ごとに対象者が違い</p>

丹羽委員	<p>ますので、種類ごとに対象者数、受診者を出して 34.9%となっています。</p> <p>ちょっとその点が分かりづらいと思います。</p>
中村委員	<p>今、丹羽委員さんが言われた、各種がん検診のことについて、もうちょっと確認したいんですけど、例えば 10 人いて、1 人の患者さんが胃がん、前立腺がんと、ありえないのですが 10 個検診を受けたとしたら 100%という、そういう計算ですか。</p>
健康づくり課長	<p>がんによって対象者が違いますので、一人が 10 個受けたとしたら、当然それぞれの受診者に一人として数えられます。</p>
中村委員	<p>いずれにしても、各種がん検診って分からないので、少し明確に書いておいていただければと思います。</p> <p>また、がん検診は年齢は関係ないのですか。がん検診の中では、年齢が低いところでやることによって効果があるということもあるというようで、適正なエビデンスに基づいて、この年齢までなら効果があるよ、というところを制限していかないといけないのではないかなど。ちょっと、何のがんのことか忘れてしまったのですが、せっかくがん検診のことが出てきたので。ちょっとご検討ください。</p> <p>もう、二つありまして、これも丹羽委員さんから、肺炎が今、全国 3 番目だよということがあったと思います。社会の潮流として肺炎、誤嚥性肺炎が増えているので、亡くなる方が増えてくるのは当然なんです。先ほど、基本構想の中で、基本計画で現状と課題をしっかりと書きますよと言われたので、現状のところ、ここ数年どういものが増え続けて、今、このように至っているよ、肺炎が増えてきている、逆にほかの要因が減ってきているなど、そういったことをここで書き込むということは難しいでしょうか。</p> <p>読んだ時に、今だけでなくここ数年を踏まえて、これから 10 年どんな流れになるかが想像できるようになるといいと思います。将来でなく今までのことということは書けるはずなんです。そういったことを書くというのは難しいでしょうか。</p>
健康づくり課長	<p>データで、一宮市でこういうものが多いということは分かっておりますので、書けないことはないかとは思いますが。次回お示しさせていただきますと思います。</p>

中村委員	<p>お願いします。</p> <p>もう一つ、二ノ宮委員さんが先ほど言われましたが、私も、この施策「健康寿命の長いまちづくりに取り組みます」ならば、「健康寿命」そのものを成果指標にするべきだと思うんですよ。数値として出せないかという話なんですけど、おそらく出せると思うんですよ。年齢と人口、それから、要支援、要介護者数というものも市で分かってくると思うんですよ。あと、各年齢層の死亡者数が分かれば、たぶん計算できると思うんです。最悪、分からなければ、推計値、去年と今年で、年齢でどのようになったのか、とか、一宮市独自の健康寿命になってしまうかもしれませんが、そういうものを出せると思うんですよ。私もいろいろ調べていますけど、出し方が適正かどうか分からないのですがホームページで公衆衛生ネットワークなどを検索していますと健康寿命の計算ができるようなシートがあつたりします。計算して出せるということであれば、成果指標として健康寿命を入れるということは、そんなに難しいことですか。</p>
健康づくり課長	<p>国と県であれば、生活基礎調査というものをやりますので、できますけれども、市町村ではやっていないものですから、市町村単位では計算することはできないので。似たようなものは出せると思うのですが、県とか国の健康寿命とは違うということでございます。</p>
中村委員	<p>健康寿命を市で出せるかどうかは分からないんですけども、データとして手に入れられるようであれば、指標として入れていただければありがたいと思いますし、それが一番分かりやすい指標だと思いますので、よろしく願いいたします。</p> <p>あと、ちょっと細かいところになってきますけれども、健康づくりを進めていくにあたって、文言としてもし可能であれば、「薬物乱用・防止」とかも入れてもらえるといいかなと思います。薬物乱用によって、子どもたちが被害を受けたりすることもありますし、スポーツによる健康の増進ということもありますので、ドーピングとかに引っかかってくることもあります。そういった文言を入れておいてもらおうと、これから10年、長いスパンになってきますので、薬物乱用の問題はこれからも増えていく可能性が高いと思いますので、よろしく願いいたします。</p>
宮崎委員	<p>先ほどから伺っていますと、この「健康寿命が長い」という言葉に</p>

	<p>引っ掛けると、「要介護」とか、書いてあるところの違うところに目がいってしまうというか。なんとなく、こちらの施策を見ていると、「健康寿命が長い」というより「健康意識が高い」まちを目指しているような気がして、それであれば、がん検診を受けて、早期発見して、健康でいられるよということは何もおかしいとは思わないんです。がん検診も、男性、女性という性別によって受ける検診も違うし、20歳で受けるもの、40歳以上で受けるもの、節目で受けるものとバラバラだし。それに、母体として、普通に会社員の方はきっと健康保険組合で検診を受けておられるけれども、この受診率は市の公費を使って受けられた方のものでしかないので、それをここに出して、低いとか高いとかいうと、逆に一宮市には会社の方でがん検診を受けている意識の高い方がいっぱいいるかもしれないのに、そういうところで評価されてしまうと、残念な気持ちになります。国民健康保険の方だけが受けられる検診という風に分けると母体がはっきりするので、それなら、すごく数字も上がると思ったりするんですけど。</p>
丹羽委員	<p>先ほどのがん検診の受診率の続きなのですが。やはり、例えば男性の死亡率の5つぐらいを挙げて、それぞれのがんの現在の受診率は何%で、34年度では何%だよ、と男性、女性での重要ながんをそれぞれ5つぐらい分けて、それぞれについて、現状と目標値を出さないとちょっと分からないと思います。そうすると、どのがんの検診が今、受けられてないとか、その辺がはっきりしてくると思うんですね。だから、ここのがん検診をちょっと打ち変えて、死亡率の高い重要ながんを男性、女性上位5種類くらい、もうちょっと多くてもいいかもしれませんが、それに絞った現状の%と目標値の受診率を書いてみて、それで受診率が低いがんに関しては広報紙に載せるとかですね、そういったことはできないのか、そういうふうに思います。</p>
二ノ宮委員	<p>最後に、細かい話で申し訳ないのですが、9ページの一番上「健康的な生活習慣づくりの推進」という部分の中に、事業3つ上がっているのですが、ウォーキングマップというものを健康づくり課がやっていますよね。市域全体で31ですか、皆さんにこういう道を歩くといいですよ、というものが全部出てくるものなんですね。公園の整備を一生懸命やってくれているけど、申し訳ないけれど公園は点でしかないの、それを上げるのも結構なのですが、ウォーキングマップもですね、冊子を作って結構PRしてらっしゃいますよね、そういうものもここに載せてもらいたいと思うし。事業の取捨選択が良く分からない</p>

	<p>のですが、まあ、この話はいいですが、検討を少しお願いしたい。</p> <p>それから「市民が考えた私たちにできること」があるんですが、ここは市民から出たということで、ここはどうこういう気はないのですが、良くある健康寿命の場合だと、一つは食事とか、生活習慣、それから一つは「心のバランス」笑ったり簡単に言うと、いきいきすることが重要であるということがありますが。健康づくりサポーター事業なんかは、笑うような講座もたぶんしているんじゃないかなと私は勝手に思うのですが。このようなことを若干どこかに入れるといいと思うのですが、これは特にやってくださいということではなくて、そういうのを入れていった方が分かりやすいし、いいんじゃないかなというふうに思うので、回答は特にいいですから、ご検討の方お願いしたいなと思います。よろしく申し上げます。</p> <p style="text-align: center;">(5分休憩)</p>
分科会長	<p>施策1の部分ではよろしいでしょうか。</p> <p>続きまして10ページと11ページの「施策2・安心して子育てができる環境をつくります」について、ご意見・ご質問をお願いいたします。</p>
中村委員	<p>成果指標のところですけど、保育園、放課後児童クラブとありまして、保育園は基準値、目標値ともに0人になっていますが、まず保育園については、第1、第2希望に入れなかった人は、第3、第4希望に入ったと表しているのか、教えてください。</p>
保育課長	<p>第1希望のみではなく、第2、第3希望とあり、そちらで入ってもらっておりますので、待機児童は0でございます。</p>
中村委員	<p>ありがとうございます。4月1日の時点の待機児童数ということでよろしかったでしょうか。</p>
保育課長 中村委員	<p>はい、そうです。</p> <p>保育園の方は私も多くの市民の方から相談を受けるのですが、要は、「第1希望で入りたい」ということがあります。やっぱり、第2、第3、第4希望で入ることも大事で、これからも0人を達成していくということは大事だと思うんですけども。大変だとは思いますが、希望園、第1、第2希望の園に制限してやっていくことも大</p>

<p>こども部長</p>	<p>切なのではないかなと思うんですけれども。ご検討ください。</p> <p>もう一つ、4月1日では、0人ですけれども、転勤とかで年度の途中、に入りたいと思っても入れない、そういった声も良く聞くんですけれど。年に一度、4月1日現在の状況のみではなく、10月1日現在の基準ももう一つ、設けていくということは難しいでしょうか。</p> <p>今委員がおっしゃったような待機児童数、例えば4月1日だけではなく、10月1日も必要ではないかということではございますが、数字的なものを申し上げますと、基準値である平成28年度の数字ですと、この年は10月1日でもやはり0人で行っていました。</p> <p>放課後児童クラブにつきましても、転入される方、転出される方いろいろございますので、月によってカウントするとこの数字は増えたり減ったりする可能性はございますが、放課後児童クラブにつきましては、月を追うごとに待機児童は減少するという現象が毎年続いているというのが事実でございます。成果指標の基準としては、なるべく対象年度の悪い数字という言い方はおかしいんですけれども、この数字を改善したいという意味の基準値ということで、両指標につきまして、年度当初の数値を挙げた方がいいんじゃないかという判断から4月1日としています。詳しく言いますと、放課後児童クラブについては、4月1日はまだ春休みでございますので、5月1日現在の数字でございますが、その、年頭の数字で比較するのが一番、現実に近いのではなかろうかという判断をしておるところでございます。</p>
<p>中村委員</p>	<p>10月1日でも0というのは、考えられなかったんですけれども、ありがたいことだと思います。ただ、市民の視点からすると、途中からはちょっと入れないんじゃないか、といった声もありますので、ダブルスタンダードという言葉が悪いんですけれど、第何希望というのも市民の方からすると課題というか、書いていただけないかなと思いますが、ご検討いただければと思います。</p> <p>さらに、放課後児童クラブについては、4月1日の入れる、入れないということもあるのですが、夏休みに入れたい、入りたいという声もありますので、これも年度当初ではなく、夏休みの時点でのそういった、基準も大切なのかなと思うのですが、いかがでしょうか。</p>
<p>子育て支援課長</p>	<p>今、成果指標について、いろいろご意見がございましたんですけれども、この成果指標につきましては、市役所全体の総合計画の中で、安心して子育てができるという環境をつくるというものの成果を測</p>

	<p>るための代表的なものを挙げているものであります。今、お聞きしましたようなこと、途中で入れない、例えば育休・産休明けに入れなくてかですね、いろいろな課題があるということは我々としても承知しております、その下のところにある、関連する個別計画として挙げであります「一宮市子ども・子育て支援事業計画」、この下位の計画の中で解決していきたいと思っておりますので、この総合計画の指標としては、そんなにたくさん挙げるのではないのかなというふうに思っている次第でございます。</p>
<p>中村委員</p>	<p>分かりました。あと、「安心して子育てができる環境をつくります」という施策の中で、これは難しいのかなと思いますが、「安心して子育てができる」とは何かというと、今言ったような仕事と子育ての両立のことかなと思います。そうすると市民の体感指標に「安心して子育てができていると思う人の割合」とは、もちろん大事だと思いますけれども、やっぱり、仕事と子育てが両立できるということが、下位計画であるのかもしれないのですが、そういったことも指標にできないのか。市民の体感指標って、1個じゃないとダメなんではなか。</p>
<p>企画政策課長</p>	<p>全体の作りとしまして、成果指標は2つ3つぐらい、市民の体感指標は1つという形で、施策のことが分かるような代表的なものということで設けております。全施策を通して市民の体感指標は1つとしておりますので、仕事と子育ての両立を含めて「安心して子育てができる」という形で聞き取りをしたいというふうに考えております。</p>
<p>中村委員</p>	<p>分かりました。他との整合性があるということも分かるんですけども、下位の「一宮市子ども・子育て支援事業計画」の方で進めていただければ、ありがたいなというふうに思っております。</p>
<p>宮崎委員</p>	<p>左の表がすごく目に付いて。例えば、「特別保育実施園数の推移」ということが書いてあって、乳児保育、延長保育と特別なことをしているということが分かってとてもいいと思うんですけども、逆に通常に預けられる園の数が書いていないので、「一宮ってこれだけしか園がないの？」という印象を受けるような気がするんです。特別なものもいいのですが、普通の園もこんなにあるということを書くとアピールができていいのかなと思うのと、児童館の数もここには出ていないので、指標に児童クラブの待機児童がいませんよ、ということが書いてあるのであれば、児童館の数も左側にあると良いのではないかな</p>

	<p>と。キッズアイとか、児童館でないけれども、学校の時間外で子どもを預けるシステムが増えてきたとか、そういったことも、子育てに対して応援しているよというアピールになると思うので、そこを載せてはいかがかなと思いました。私はこちらで子育てをさせていただいて、保育園も児童館もいろいろサービスを受けさせていただいて、ありがたいなと感謝していたので、もっとそういったところを、アピールしていただければなと思っています。</p> <p>それともう一つ、事業展開の方向性の中を見ると、子育てというのが小学校の低学年くらいまでを対象にしていっちゃうのかなというように思うんです。小学校高学年、中学、高校もずっと子育てなんですけれども、そういったことは、青少年育成課とか課が違うということになるのかもしれないのですけれども、子育ては乳幼児期だけじゃないし、精神的にいろいろ助けてもらえる仲間づくりができる事業とかがあったら、それもこういったところを書いておいても良いのではないかなと思いました。</p>
企画政策課長	<p>子育てに関して、乳幼児期しか書いていないんじゃないかというお話が、今ありました。これにつきましては、施策24「子どもから青少年まで健全に育つ環境をつくります」というところで、乳幼児期以外の子育てについても、若干触れさせていただいております。</p>
子育て支援課長	<p>ただいまの保育園とか、児童館とかも載せたらどうか、というご提案につきましては、載せることはよろしいわけなんですけれども、スペースに限りがあるわけですので、最も代表的なものだけを選んで掲載しているという事情がありまして、他のページとの整合性を見まして良ければ載せることは可能なんですけれども。</p>
宮崎委員	<p>スペースのことももちろんですけれども、成果の中に児童館の待機児童のことが書いてあったから、児童館の数がないんだなということが気になったんです。逆にファミサポのことは、数が減ってるなと思って見ていたんですけれど。なので、児童館のことも気になっちゃったんですけれど。</p>
渡部委員	<p>一つだけ質問させてください。先ほどの中村委員と質問が被ってしまうのですが、特別保育実施園数の中に、乳児保育、延長保育のことが書いてあるのですが、延長保育は、現状、40園で行っているということでございまして、例えば夜遅くまで仕事をやりたいという方がいらっしゃる中で、その方が長くまで預かってもらえる園に入ること</p>

	<p>ができていいのか、というものも含めて、待機児童数は0ということになっているのでしょうか。</p>
<p>保育課長</p>	<p>延長保育ですけれど、29年度では、45園になっておりまして、公立で31園、私立で14園なんですが、かなり延長保育は充実してきたと思っております。なので、待機になって、延長保育が実施されていない園に行く保護者の方も中にはみえるかなとは思いますが。</p>
<p>渡部委員</p>	<p>ちょっと重ねてになってしまうのですが、女性の就労の方を上げていかないと、社会が回っていかないというようになっている中で、そういった点を注視しているところであります。大きな企業であると保育所があって働く方を支援していただく、そういう状況であるんですが、そういうものがない場合、やはり市の保育園を頼らないといけない。そういうときに、延長保育がないので、早く帰らないといけない、または、預けられないという状況には今はなっていないということでしょうか。</p>
<p>保育課長</p>	<p>数字的には把握しておりませんが、そういうご相談はあることはあります。ご希望に添えていないところもあるのですが、なるべくご希望に近いところにご案内するよう努めております。</p>
<p>渡部委員</p>	<p>「安心して子育てができる」、とは、「安心して子供が預けられる」ということですので、そういうところも成果指標の中に盛り込めないのかなど。要は、第一希望に入れない、または、特別保育が受けられない人も含めてですね、待機児童数を気にしてもいいのではないかなど私は思っているところがございます。以上ご検討いただければと思います。</p> <p>あと、障害児保育の件は、施策5なのですかね。</p>
<p>企画政策課長</p>	<p>施策5の方に「保育環境の充実」とございますので、施策5の方でお願いします。</p>
<p>分科会長</p>	<p>それでは、この「施策2」については、以上とさせていただきます。次に12ページから13ページの「施策3・適切な医療を受けられる体制を整えます」について、最初に、病院の方から訂正がありますのでお願いします。</p>

市民病院 地域医療連携室副室長	成果指標「③地域医療機関から市民病院への紹介率」の目標値につきまして65.0%となっておりますが、ここを、申し訳ございませんが、70.0%に修正をお願いしたいと思います。これは平成28年10月に作成した数字でございます、関連する個別計画である「一宮市病院事業新改革プラン（平成29～32年度）」では、既に目標を70.0%としておりますので、こちらに合わせさせていただきました。よろしくお願いいたします。
分科会長	はい、ありがとうございました。それではこの施策3についての、ご意見・ご質問をお願いいたします。
丹羽委員	13ページの「医療従事者の確保と技術の向上」というところで、医師・保育看護師確保事業というものがあるのですが、看護師の確保についてですね、看護師の学生に対する奨学金といったものは考えておられますでしょうか。例えば、看護師の学生に対して奨学金を与えて、もし5年働けば返す必要がないというような奨学金を、一宮市では考えていますでしょうか。
市民病院管理課長	実は昨年度からスタートいたしまして、学生が初めて就職した場合、学資金として、1人年間60万円、月5万円交付させていただいております。平成28年度の実績ですと、市民病院は43人で、大体2,500万円ぐらいになります。ちなみに、今年度も実施しております。
丹羽委員	対象は1人なのですか。
市民病院管理課長	今回、新卒43人分。学生から看護師に初めてなった方が対象ですので、他の病院に勤めていて、市民病院に来ていただいた方は対象になりません。
丹羽委員	4年生だけですか。
市民病院管理課長	そうです。看護学校なら4年生、専門学校なら3年生の方で、初めて、就職することが前提でございます。
二ノ宮委員	まず、市民病院の方で、ここに書いてありますように、ハイブリッド手術室であるとか、緩和ケア病棟であるとかしております、一宮市内には他にも病院もいろいろありまして、非常にありがたいと思

	<p>っています。という前置きのあと、ちょっと質問させていただきたいのですが、課題の一つ目、「引き続き医師の確保が必要となっています」とあります。どこの市でも医師不足というのが非常に問題になっておりまして、これは非常に良く分かる話なのですが、成果指標の方へ行きますと、医師の採用・退職者の比率ということで、これは、退職者に対する採用の割合だから、基準値が 102.9%というのは、よりたくさんの医師が来ているよと、それを目標値は 100 にするよ、と。他方で看護師は、85.2%で足りないよと、これは 100 にするよ、と。看護師の方は非常に良く分かるんですけども、医師がいるよと言いながら、102.9%と非常に恵まれた状況にある中で、目標値は 100 にしていくという。看護師と医師の指標だけ見ていると、なぜ片方は下げて片方は上げるのかなというふうについ見ちゃうんですが。その辺りを少し、ご説明お願いできますか。</p> <p>市民病院管理課長 医師・看護師は年度途中の出入りがすごく多く、また、医師に対しては医局の人事異動というものがありますので、年度途中でも変わられます。そういった中で、基準値としましたのは、平成 27 年度に採用した数が市民病院、木曾川市民病院合わせまして 35 人、一方退職した人数が 34 人となっております、102.9%という数字となっております。目標値として掲げておりますのは、100 を割らないということで。確かに多ければ多いほどいいというものではないのですが、少なくとも、退職される人数分は必ず確保したい、ということで、100 という数字を挙げさせていただいております。</p> <p>看護師に関してはこちらもかなり出入りが多いものですので、平成 27 年度は採用した人数が 52 人、退職した人数は 61 人ということでしたので、85.2%という数字になっております。</p> <p>医師・看護師はやはり、市民の皆さんの健康の要になる、欠かせない存在でございます。ですので、こちらに関しては退職した人数を必ず確保する、という意味で、100 という数字を目標とさせていただいております。</p>
二ノ宮委員	<p>課長さんが言われたことは、すごく良く分かるのですが、新しい病棟等をつくれれば、医師は要りますよね。そうすると、退職した人と採用した人の割合だけで果たしていいのかなと。例えば、5 人退職して、5 人採用したら 100%になるわけですが、ところが、新病棟をつくと来年度は 5 人やめたら 10 人入れないと対応できないよという話になると思うんですけども、だとすると 200%になっちゃいま</p>

中村委員	<p>すよね。違う状況のとき、つまり医師の数を増やしていくときには、この指標だけを見ていると、わけの分からない方に行っちゃうと思いますので、そういうご配慮だけ、お願いしたいと思います。</p> <p>まず1点目確認させていただきたいのは、今回「適切な医療を受けられる体制を整えます」ということですが、認識として確認させていただきたいのですが、これは地域医療の中で、在宅医療を除いた中で、体制を整えていくというように私は読み取ったのですが、そういう解釈でよろしかったでしょうか。</p>
市民病院次長	<p>委員がおっしゃったとおり、病院完結型から地域での完結型という国の考えがありますので、市民病院もその国の考えに則って行きたいということで考えております。</p>
中村委員	<p>そうすると、市民病院も含めて、地域の医療の体制を整えていくということがここに書いてあるということよろしいでしょうか。</p>
市民病院次長	<p>こちらにつきましては、市民病院の体制だけを書かせていただいております、当然、地域の医療機関と連携を取っていくということもあり、課題の2つ目のところに書かせていただいております。</p>
中村委員	<p>そうすると、ここには、市民病院を中心として、医療の体制を整えていくということが書いてあるということよろしいですね。</p>
市民病院次長	<p>一宮市内には大きな病院が3つございます。その3つが助け合って、市民の医療に関する体制を整えていくこととございます。先ほど病院事業新改革プランということもお話ししましたが、この中でも地域医療機関というもの、当然大きな病院とも、関係を持ちながら進めて行くということとございます。</p>
中村委員	<p>大きな病院もそうですし、一宮市内にある診療所さん、薬局さんそういったものも含めて、ということですね。分かりました。</p> <p>そうすると、課題の2つ目「より一層の医療連携が求められています」とありますが、医療連携というのは、病院、病診、薬局との連携、それから歯科医といったものが書かれているという解釈でよろしかったでしょうか。</p>

市民病院 地域医療連携室副室長	おっしゃるとおりでありまして、成果指標の③地域医療機関から市民病院への紹介率というように挙げているように、こちらのよう連携をしていきたいと考えております。
中村委員	そうすると、この課題の「より一層の医療連携が求められています」という文言があるんですけども、私はこういったいろんな「地域医療」との連携というものを読まさせていただいている中で、ちょっと違和感を持ったのは「地域医療機関」とだけ書かずに、市内の診療所さんとかが関わって来ますので、「かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬剤師などの地域医療機関」といった書きぶりにした方が良いのではないかなと思いますけど、難しいでしょうか。
市民病院 地域医療連携室副室長	「地域医療機関」と書いてございますし、基本的には含まれているというふうに思いますが、薬局等との連携はやっておりますし、一度、検討はさせていただきます。
中村委員	<p>薬局という言い方もありますけれども、「かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬剤師」というようにしていただければありがたいかなと思います。</p> <p>続きまして、成果指標のところでは先ほども二ノ宮委員の方から話がありましたが、やはり、医師及び看護師さんを確保していくということは非常に重要な課題であると思うんですよ。なので、指標としては関係あると思うんですが、ただ、採用・退職の比率ということで、単に人数を割ったものだけで評価していくということは、果たしてそれで良いのかなと疑問符を感じております。</p> <p>医師においては、医局に戻るといところで難しいところもあるかと思うのですが、看護師さんにおいても、継続勤務年数そういったことも指標に入れていくべきではないのかなと。短い間に変わっていくということであれば、それは何か問題があるから、対策をうたっていないといけない。といった指標になってくると思いますし、長いこと勤めていただいていることによって、効率的といとなんですが、うまく、病院の中で患者さんと接していただく、そういうことも期待できると思います。そういった、継続勤務年数を指標に入れていくのは難しいでしょうか。</p>
市民病院管理課長	先ほど企画政策課長も申しましたとおり、限られたスペースですので、指標というのはたくさん並べますと、なかなか難しい面もありま

<p>中村委員</p>	<p>すので。勤続年数に関しましては、やはり自己都合で辞められる方もいらっしゃると思いますし、その中で、どうして辞めるのということもなかなか聞けません。また、市民病院としての離職率はそんなに高い方ではないと、今のところ、認識しております。勤続年数まで載せるということは考えておりませんので、よろしく願いいたします。</p> <p>採用・退職比率で一番危惧するところといたしましては、今、看護師さんにおいては100%を切っているのですが、どんどん増やしていかないといけないという話になりますけれど、なんかして100%を達成した場合、逆にこの目標を達成するために看護師さんに辞めてもらわないといけない。数値の目標を求めていくと、あくまでそういったことになりかねないので、是非とも成果指標が看護師さんの離職につながることにならないように、していただくとありがたいなと思います。</p> <p>もう一つ、成果指標の下にあります、「紹介率」ですが、私も他の自治体の総合計画を見させていただいていると、紹介率だけでなく、逆紹介率も書いているケースもあるのですが、本来であれば、診療所さんから市民病院というだけでなく、市民病院から診療所という逆紹介率も表と裏になってきますので、書くべきではないかなと思いますけれど、その辺、書かなかった理由、例えば、書こうかどうか迷っているとか、ご意見いただければと思います。</p>
<p>市民病院次長</p>	<p>確かに委員がおっしゃるとおり、逆紹介率というものも大切な指標だと思っております。平成27年度でいえば、逆紹介率は、85.6%という数字でございます。先ほど、課長も言いましたが、指標の数は限られた中ですので、逆紹介は、頑張っているということのみに留めさせていただいております。これからは、まず、紹介をいただかないと、市民病院少し今病床が空いてしまっていますので、診療所さんに戻すことも大切なのですが、そちらから受け入れるということも、大切なこととございますので、より、重要な指標ということで、こちらの方は紹介率とさせていただきたいと思っております。</p>
<p>中村委員</p>	<p>スペースというおっしゃることは分かるんですけども、紹介率だけ書いてあると、本当に逆紹介しているのだろうか、といった市民の心配する声も出てくると思いますので、是非、逆紹介率も検討いただければありがたいと思います。</p> <p>もう一つ、これが最後になりますが、おそらく、先ほど確認したと</p>

	<p>おり、今、市内の病院と市民病院が連携していく、薬局、診療所さんと連携していくということが書いてあると思うのですが、成果指標までは求めないのですが、これからは、やはり自治体をまたいだ中での医療連携をしていくという流れというものが出てきているんですよ。例えば、地域医療連携推進法人というものがあったりするんですけども、そういったことも視野に入れて、一宮市はこれから自治体、法人との連携についてより広域的な点、自治体をまたいだ広域的な医療連携も課題としてありますよ、ということも書いておくべきではないかなと、私は思っているんですが、ご意見をお願いします。</p>
市民病院次長	<p>今回の総合計画の中には書かれておりませんが、新しい病院改革プランの中には入っております。地域包括ケアシステムというものが世間で言われていますが、そちらの方には、一病院として市民の方に対して医療・介護・生活支援というような一環の中での、市民病院の位置づけというものも書かれておりますので、今回、こちらの総合計画の方には書かせていただいておりますが、プランの方には書かせていただいておりますので、よろしくお願いたします。</p>
中村委員	<p>確認ですが、地域医療連携推進法人といったものを目指しているということが書いてあるという認識でよろしかったでしょうか。</p>
市民病院次長	<p>おっしゃられることにつきましては、検討という形です。既にできているところもございしますが、尾張西部医療圏では、検討という段階でございしますので、それをこちらの方に載せるのは、まだ、難しいかなと思っております。</p>
中村委員	<p>難しいかなと思うのですが、やはり一宮市は広いので、市民病院に来るより、大和町だと稲沢市民病院、千秋町においては小牧市民病院そういったことも実際には起こっていると思うので、市民病院中心にして考えるということも大事だと思いますけど、近隣の他の大きい病院とも連携していく、そういった連携をしていくことによって、成果指標にあるように、医師や看護師を今後融通していく、そういったことも地域連携医療推進法人といった考え方でやっていくと解消できるのではないかと、といったことも言われていますのでね、広域的というか、そんな文言を入れてもらえるといいかなと思いますけれども、ご検討いただければありがたいなと思います。</p>

渡部委員	<p>まず一つ、根本の問題で申し訳ございません。先ほど基本構想の方で、満足度と重要度のところですが、Aの2として、「市民病院が利用しやすい」ということが、重要度が高くて満足度が低いとありますが、市民病院の使いやすさの悪い方の要因とそれに対する対策というのは、何か考えておられるのでしょうか。</p>
市民病院管理課長	<p>今、委員が言われたのは、基本構想の43ページにおいて、「市民病院が利用しやすい」という点について、重要度が高いが、満足度が低いということだと思います。これはアンケートでございますので、いろんな要因があると思います。例えば診療科がいっぱいあって、何科を利用したらいいか分かりにくいとか、あるいはもしかしたら、駐車場のこともかもしれない。どのことについては分かりませんが、例えば、駐車場が利用しにくいというようなことはいろんなところから聞いておりますので、シャトルバスを運行するとか、できるだけ利用しやすい駐車場をつくるとか、そういった対応をしております。診療によって何科がいいか分からないので、利用しにくいということなのかは、ちょっと見えてこないのですが、例えば、紹介状によって地域のドクターが「これは市民病院の〇〇科に行って検査してください」という具体的なことを挙げていただくことによっても、専門的なこともなんとかクリアできるのかなと思います。一方、満足度が高い、という部分で行きますと、3番に「専門的な医療が受けられる」ということでは、満足度が高い、という数値も得られておりますので、具体的なことは書いていないのですが、参考にしながら検討しております。</p>
渡部委員	<p>あと1点お尋ねしますが、先ほど二ノ宮委員からご質問があった成果指標の件につきましてですが、採用・退職の比率ではなくて、ポストつまり、考えている定員に対する充足率とした方がいいのではないかなと思った次第でございます。</p> <p>また、ここに限ることではございませんが、いろんな指標について、できれば分母、何に対してこの割合を出しているのか、併記することができないのか、検討していただきたいのですが、いかがでしょうか。</p>
企画政策課長	<p>今のお尋ねに対しての答えなのですが、こちらにつきましては、92ページをご覧いただきたいと思います。この施策に拘わらず、どんなものが指標で、その算出方法はどんなようになっているのか、ということ資料として載せさせていただいております。</p>

渡部委員	<p>なるほど。ここに記載されていることが分かりました。ただ、申し訳ないのですが、私みたいに、パッと見た時に受ける印象が変わってしまうので、この分母が何になっているのか、施策ごとに書いていないまたは、最後に誘導していないというところが、分かるようお願いできないかなと思うところがございます。</p>
企画政策課長	<p>4 ページ、5 ページの基本計画の見方というところを今一度ご覧いただきたいと思います。⑧のところになるのですが、括弧書きで指標数値の算出方法は92 ページから 97 ページをご覧くださいというように書いてございますので、こちらの方でご勘弁いただきたいと思います。</p>
渡部委員	<p>今、いろいろ議論が出ている中で、ここまでパーセンテージの出し方について、いろいろ誤解の印象を生んでいるのかなと思うのですが。</p>
企画政策課長	<p>見せ方につきましては、いろいろご意見がございますが、限られた紙面という言葉は言ってはいけないとは思いますが、こちらの方に根拠となる算出方法を書きますと、逆にちょっと見づらくなるかなと思いますので、基本計画の見方の方でのご確認ということでお願いしたいと思います。</p>
渡部委員	<p>いや、この成果指標のところ、算出方法は 92 から 97 ページと書いておいていただだけでも誤解されることが少なくなると思うのですが。</p>
企画政策課長	<p>ご要望に添えるか分かりませんが、見やすさも含めながら、一度検討させていただきたいと思います。</p>
丹羽委員	<p>12 ページに市民病院、木曾川市民病院の入院・外来患者の推移がデータとして載っているわけでありますが、平成 25 年が多く、最近では入院患者数も病床利用率も減っている、そして、木曾川市民病院も数年減っているということですね。延べ数も外来、入院ともに減っているということで、市民病院は新病棟という整備を行っていると思いますが、病院の経営について、指標にするということはどうでしょうか。つまり、外来の延べ数を何人までにする、あるいは入院の延べ数を何人までにする、といった目標はあった方がいいんじゃないかなと思うところがございます。</p>

市民病院次長	<p>ゃないかと思うのですが、それに関しては。</p> <p>今回の新病棟は、緩和ケアを充実させるということで、患者さんが、人間らしく、健やかに最期を過ごしていただくという病棟なものですから、利益という点ではあまり大きくはないと思っております。市民病院は地域における診療の拠点病院ということで、住民の方が笑顔で過ごしていただくところとして、当然、そういう医療は高額なものですから、これは赤字であってもやりたい、地域のために整備していくということでして、それを数値的にどうやって表していったらいいのか、ということは大変難しいかと思えます。ただ、経営的には何とかしていきたいとは思っています。</p>
丹羽委員	<p>外来患者も入院患者も減っていると、その辺の要因の分析をして、それを増やすような、方策を考えているのかどうか、ということと、それを指標として、34年度には、それを改善するような計画は、あるんですかね。その辺がちょっとお聞きしたいのですが。あと、データがちょっと古いですね。平成27年では、12ページもそうですが、10ページも全体的に平成28年度のデータはない。減っている理由を明らかにして、それを改善するという計画を立ててはいないのか。</p>
市民病院次長	<p>実は22年10月に愛知県循環器医療センターと一宮市市民病院が合併いたしました。その状態で、ずっと22,23,24とずっと右肩上がりでした。ところがその間に地域の実情を申し上げますと、一つの病院が非常に拡大傾向でございます。それは別に悪いことではなくて、住民の方々はどちらか選べる状態になったということでございます。ただ、私どもも手をこまねいて、このままでいいというふうには思っておりません。30年12月頃には新しい病棟ができますので、そこで改めて住民の方にこういったものができるということをPRしながら経営的には頑張っていくというような意気込みぐらいしか言えないのですけれども。</p>
丹羽委員	<p>そういうのを成果指標に入れてほしいというように私は思いますが。</p>
市民病院次長	<p>なかなか、先ほどから申し上げているように、数字をきっちり挙げることはできないものですから、申し訳ないと思っておりますが、よろしく願います。</p>

宮崎委員	<p>さっき丹羽委員さんがおっしゃられたことと被っちゃうかもしれないんですけど、私、この左のグラフを見て、指標を眺めた時に、市民病院を利用する方が減っているにも拘わらず、医師の数を確保して、看護師も増やしているのはなぜだろうと思ひ、現状の部分を見返していたら、先ほど、赤字でもしたいとおっしゃったハイブリッド手術室や、緩和ケアの病棟をつくる、要は、目線を変えて、患者さんを他のところを取られているのではなくて、逆に特化した方たちをよそから引き込むくらいの意気込みで頑張っているんだよということが書かれています。なので、事業展開の方向性の中に、ハイブリッド手術室を整備してというとか、病棟をここに建てているようなことが、この新設という中に含まれているのであれば強調するとか。そういうところに特化した病院を目指しているのだから、従来のケガだとか病状の方は他のところに行っているけれども、それも逆紹介率が上がっている成果であるから市民病院の患者さんの数は下がっているとか。そういう、悪いことではなくて、下がっていることもいいことであると取れるようなものにしないと、パッと見て、病院の経営は大丈夫なのかなという印象で終わっちゃうと思うので、是非もっと強く書いていただくと、私たち市民が見たとき、どこの病院に行こうかなと思ったときに、目が行くかなと思って拝見しました。</p>
市民病院管理課長	<p>現状のところ、緩和ケア病棟やハイブリッド手術室のことを書かせていただいたのですが分かりにくいでしょうか。</p>
宮崎委員	<p>もっと、こうしているよ、ということを強く言っていただければいいかなと思ったんです。公園のところでも工事していますよね。市民としては、何か建つんだな、病床足りていないのかなと思っちゃうけれど、市民病院はこっちを目指しているんだなと分かるので。</p>
市民病院管理課長	<p>市民病院の目指している方向は急性期医療ということで、重篤な患者さんを引き受けるということで、変わってごさいません。ですので、特化したという言い方はなかなか難しいところがあります。というのは総合病院ですので。それから入院患者、外来患者につきましても、実は地域医療支援病院というのは、できるだけ外来患者を減らしなさいと、外来患者さんについては、基本的にはまちのかかりつけ医さんに診てもらって、重篤な患者さんのみを市民病院で診なさいよということが国の方針でございませう。その方針に基づきますと、外来患者は</p>

	<p>減ることになります。ただ、入院患者が減るということ自体は確かに入院患者はできれば増やしたいところですが、逆に市民が健康になっていただければ減る方向でありますので、そういった点では、入院患者は減る方向になるのではないかと。病床利用率ということを書かせていただきました、平成 23 年度は 94.1%ですが、27 年度は 86.3 に落ちております。これも、例えば入院期間を長くすれば、病床利用率は上がるわけですが、急性期を脱してお帰りになるとのことで、できるだけ短期間で治療するというのであれば、病床利用率もおのずと下がってまいります。逆に入院患者さんの診療単価はどうなんだという、そちらの方は上がってきております。ですので、病院の医療収益としては、グラフのように右肩下がりではありません。ただ、一般の方が指標として見ると、入院・外来患者数、病床利用率、下がっていると大丈夫かなと思われる面もあるのですが、この場では詳しく説明ができるんですけれども、この紙面の中では難しいなということがあります。</p>
二ノ宮委員	<p>今、丹羽委員、宮崎委員からお話があったように、ここに入院・外来患者数の推移が書いてあると、やっぱりそっちに目が行っちゃうんですね。今、課長が言われたような説明を聞くと、分かるのですが、経営状況が分かるようなものとか、今言われたように、総合病院は地域の医療機関に患者を戻しなさいよということを言われているということが、どこかに書き込めないかなと。聞けば確かにそうなんだなと分かるんだけど、この総合計画を見た時にそういうのが分からないんですよね、正直な話。その分からない中で指標を見ると、どんどん減っているじゃないか、いいの？と思うんですね。僕もどうしたらいいのか、ということはここでは言えませんが、ちょっと少し、検討してもらった方がいいのかなと、いろんな委員の意見を聞くと、そういうふうに思いますので。そうしないと、誤解を受けてしまいますので、ご配慮をお願いしたいと思います。</p>
市民病院次長	<p>すみません。このグラフを見て皆さんにご心配をかけてしまったと思いますが、お金だけで行けば収益は増えてはいます。確かに指標やグラフで、本当に大丈夫かなという気持ちになるということでしたので、限られた紙面の中で、できるかどうか分かりませんが、検討してまいりたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。</p>
分科会長	<p>ここに限らず、今までの中でご意見がありましたらお願いします。</p>

<p>企画政策課長</p>	<p>よろしいでしょうか。 それでは、本日予定しておりました審議は終了いたしました。 次回の分科会では、残りの施策の審議をしたいと思います。 事務局から次回の予定を報告していただけますでしょうか。</p> <p>大変ご熱心に審議いただきまして、ありがとうございました。 次回につきましては、「第2回 健康・福祉・教育分科会」ということ で、8月2日(水)の午後2時から、会場は市役所本庁舎14階大会 議室となります。</p> <p>審議していただく範囲につきましては、基本計画の施策4と5(14 から17ページ)、それとプラン5の施策24から28(62から71ペー ジ)ということになりますので、お願いしたいと思います。</p> <p>なお、ほかの分科会のスケジュールは、すでに報告させていただい ておりますが、委員の皆様から、この分科会での審議対象以外の施策 について何かご意見等がございましたら、7月31日(月)までに事務 局へ提出していただきたいと思っております。</p> <p>今日検討しますと答えた部分につきましては、次回、会議の冒頭で また、皆さんにご確認いただきたいと思っております。あらかじめ、資料を お送りしたいと思っておりますが、今回、大変検討する項目が多いもので から、さっそく作り、できる限り早めにはお送りしますが、ひよっと すると次回会議の直前ぐらいになるかもしれませんので、その点はあ らかじめご了承いただきたいと思っております。</p> <p>事務局からは、以上でございます。</p>
<p>分科会長</p>	<p>いま、事務局からの報告のとおり、残りの施策については、次回の 分科会にて審議することにいたします。</p> <p>それで、私から1点だけいいですか。現在パブコメをやっていた いでいるということですが、事務局の方に意見は届いているのでし ょうか。</p>
<p>企画政策課長</p>	<p>今の時点で、4人の方から、パブコメ、市民意見提出制度というこ とで、ご意見をいただいております。</p> <p>こちらにつきましても、また、分科会の方でご意見と事務局がどう 考えているかということをご報告します。</p>
<p>分科会長</p>	<p>はい、分かりました。どうもありがとうございます。</p>

	<p>それでは、これもちまして本日の「第1回 健康・福祉・教育分科会」は閉会いたします。 皆さん、どうもありがとうございました。</p>
--	--